



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社チノー 上場取引所 東
 コード番号 6850 URL <https://www.chino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115
 兼社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,727	24.3	134	—	189	—	71	—
30年3月期第1四半期	3,803	6.7	△87	—	△51	—	△46	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 149百万円 (102.7%) 30年3月期第1四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	8.41	—
30年3月期第1四半期	△5.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	25,541	15,139	55.7	1,680.24
30年3月期	26,396	15,360	54.7	1,703.64

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,236百万円 30年3月期 14,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,460	3.4	1,400	7.4	1,470	7.4	920	10.5	108.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 7 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	9,260,116株	30年3月期	9,260,116株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	787,491株	30年3月期	787,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	8,472,670株	30年3月期1Q	8,484,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産実績	10
(2) 受注実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国の保護主義的貿易政策等の影響により先行きは不透明な状況ですが実体経済が好調な米国や内外需要が底堅い中国を中心に概ね堅調に推移いたしました。わが国経済につきましても、高水準の企業収益を背景にした堅調な設備投資など、緩やかな回復基調が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループは新中期経営計画初年度の重点施策として、半導体、電子部品、二次電池、新素材の4成長分野とIoT、航空・自動車の2重点分野について、特販チームを設置して組織的な需要開拓を展開しており、今後は営業部門が市場動向とお客さまニーズの把握に努め、販売・開発・生産部門が連携して戦略的な製品開発を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間は、受注高は前年からの増加傾向が継続したことにより、5,445百万円（前年同四半期比7.1%増）となり、売上高は第1四半期として過去最高の4,727百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加および収益性拡大等に向けた取り組みの結果、営業利益134百万円（前年同四半期は営業損失87百万円）、経常利益189百万円（前年同四半期は経常損失51百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測制御機器

売上高は1,868百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益（営業利益）は292百万円（前年同四半期比45.0%増）となりました。前年同期と比べ受注が大幅に増加した調節計およびサイリスタレギュレータを中心に売上高が拡大しました。また記録計についてもハイブリッド記録計を中心に堅調に推移しました。電子部品製造および熱処理における温度監視用の需要が引き続き好調であり、海外では中国および韓国向けの売上が伸びました。

②計装システム

売上高は1,637百万円（前年同四半期比57.2%増）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）となりました。当セグメントの売上高は例年、季節要因により第4四半期に集中する傾向にありましたが、当第1四半期は前期からの好調を引継ぎ、前年同期と比べ大幅に増加しました。自動車、電子部品、半導体、家電向け、その中でも特に電子部品製造装置用の制御盤や、家電および自動車エアコン用の試験装置が国内および中国を中心に好調を継続しています。また、医薬品等の温湿度管理システムについても、データの電子記録化が進んでいることを背景として需要が拡大しています。

③センサ

売上高は1,013百万円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント利益（営業利益）は152百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。売上高は半導体製造装置向けが引き続き牽引役となっています。個別の製品では、放射温度計が国内および中国における半導体製造工程の温度制御用として、また熱画像計測装置が鉄鋼所における監視用として需要が伸びました。温度センサについては、石炭・バイオマスの安全監視用サイロケーブル、航空機部品熱処理用が好調でした。

④その他

修理・サービス等の売上高は208百万円（前年同四半期比16.9%増）で、セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同四半期比89.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて855百万円減少し、25,541百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ806百万円減少し、16,871百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加657百万円、受取手形及び売掛金の減少1,530百万円、たな卸資産の減少69百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円減少し、8,669百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて635百万円減少し、10,401百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ563百万円減少し、7,778百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、2,622百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ220百万円減少し、15,139百万円となりました。これは剰余金の配当による減少338百万円等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,855,401	5,512,754
受取手形及び売掛金	7,441,243	5,911,019
商品及び製品	1,041,743	1,002,603
仕掛品	2,181,271	2,145,251
原材料及び貯蔵品	1,962,416	1,967,711
その他	312,751	444,076
貸倒引当金	△116,156	△111,679
流動資産合計	17,678,671	16,871,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,515,628	2,487,257
その他	1,950,913	1,932,353
有形固定資産合計	4,466,542	4,419,610
無形固定資産		
のれん	55,668	48,089
その他	551,192	508,052
無形固定資産合計	606,861	556,142
投資その他の資産		
その他	3,644,909	3,693,924
投資その他の資産合計	3,644,909	3,693,924
固定資産合計	8,718,312	8,669,677
資産合計	26,396,983	25,541,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,789,314	4,055,854
短期借入金	1,554,395	1,714,094
未払法人税等	392,599	130,494
賞与引当金	552,801	266,143
その他	1,052,891	1,612,316
流動負債合計	8,342,001	7,778,902
固定負債		
長期借入金	740,919	657,696
退職給付に係る負債	1,360,136	1,350,686
役員退職慰労引当金	314,531	327,572
その他	279,063	286,775
固定負債合計	2,694,649	2,622,731
負債合計	11,036,651	10,401,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	6,717,042	6,449,421
自己株式	△1,153,916	△1,154,118
株主資本合計	13,908,384	13,640,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	524,447	612,609
為替換算調整勘定	44,652	26,449
退職給付に係る調整累計額	△42,922	△43,549
その他の包括利益累計額合計	526,177	595,508
非支配株主持分	925,770	903,711
純資産合計	15,360,332	15,139,781
負債純資産合計	26,396,983	25,541,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,803,704	4,727,236
売上原価	2,645,509	3,322,271
売上総利益	1,158,194	1,404,965
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	500,648	502,974
賞与引当金繰入額	98,182	100,556
退職給付費用	30,692	26,068
役員退職慰労引当金繰入額	14,518	13,041
研究開発費	107,237	138,842
その他	494,171	489,031
販売費及び一般管理費合計	1,245,451	1,270,514
営業利益又は営業損失(△)	△87,256	134,450
営業外収益		
受取利息	2,765	3,274
受取配当金	19,965	24,765
為替差益	—	8,960
売電収入	12,451	12,496
その他	22,372	24,049
営業外収益合計	57,555	73,545
営業外費用		
支払利息	2,695	2,298
金融関係手数料	2,822	2,852
売電費用	6,185	5,421
為替差損	201	—
その他	9,775	7,965
営業外費用合計	21,680	18,537
経常利益又は経常損失(△)	△51,381	189,459
特別利益		
固定資産売却益	25,025	—
特別利益合計	25,025	—
特別損失		
固定資産処分損	526	71
特別損失合計	526	71
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△26,882	189,387
法人税等	9,589	97,530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,472	91,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,746	20,567
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,219	71,289

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,472	91,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,152	88,161
為替換算調整勘定	△11,945	△29,639
退職給付に係る調整額	3,154	△627
その他の包括利益合計	110,361	57,894
四半期包括利益	73,888	149,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,514	140,621
非支配株主に係る四半期包括利益	373	9,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,645,085	1,041,629	938,607	3,625,323	178,381	3,803,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,645,085	1,041,629	938,607	3,625,323	178,381	3,803,704
セグメント利益又は損失(△)	201,623	△56,158	125,652	271,116	12,759	283,875

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	271,116
「その他」の区分の利益	12,759
全社費用(注)	△371,132
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△87,256

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,868,166	1,637,441	1,013,028	4,518,637	208,599	4,727,236
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,868,166	1,637,441	1,013,028	4,518,637	208,599	4,727,236
セグメント利益	292,269	43,154	152,996	488,420	24,132	512,553

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	488,420
「その他」の区分の利益	24,132
全社費用(注)	△378,102
四半期連結損益計算書の営業利益	134,450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,533,364	13.2
計装システム	1,514,950	46.0
センサ	902,034	10.9
その他	125,807	21.7
合計	4,076,157	23.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、見込販売価額で示してあります。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)
計測制御機器	1,963,651	6.9
計装システム	2,086,486	1.4
センサ	1,183,197	20.1
その他	212,254	4.8
合計	5,445,589	7.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。